

医学研究センター

研究主任部門

池淵 研二

(部門長 医学部 輸血・細胞移植部 教授)

1. 人事

保健医療学部から副部門長として石井郁夫教授(医用生体工学科)にニューメンバーとして参加していただいた。

2. 企画

1) 研究発表会

グラント部門および知財戦略研究推進部門が活動され、研究資金獲得熱が高まってきている。そうした中で学内グラントが設立され学内研究者への研究支援が順調に進められるようになった。新たに医療学部所属の研究者からの申請数が多くなり受賞されるようになってきた。研究成果は助成最終年度に埼玉医科大学雑誌に紹介していただいているが、その成果を学内の研究者達向けに講演発表していただける場を研究主任部門として提供できるよう準備を進めている。

発表会の形式として、一人持ち時間15分、質疑応答5分の配分で、約10個の演題を予定している。この研究発表会の企画に賛同していただける受賞者から有志を募る。

大学院教育の一貫として単位認定を受け、研究者ばかりでなく大学院生にも講義として受ける機会となるよう関係部署と協議中であるが、現状の大学院制度では単位認定になるためには数段階のステップを乗り越える必要があることが判明した。鋭意努力を続ける予定である。

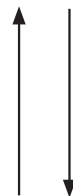
来年度からは学内グラント受賞者全員に義務として成果発表をお願いするような制度として導入することも視野に入れて準備している。

せっかくの発表会をより有意義なものにする目的で、学外から講師を招き特別講演を同時開催し参加者数アップにつながるような企画も考慮していきたい。

2) 学内共同研究を推進するためのその他の予定

- ・研究者の研究テーマの一覧を作成して定期的に学内に提供する。興味を持った他の研究者と交流が始まることを目標にする。
- ・研究者が持っている実験手法を紹介する情報を集めて定期的に提供する。実験手法を新規に習得したいと希望している研究者がそれを見て、指導を受けるチャンスが得られることを目標にする。

「〇〇先生はマイクロダイセクション手技を駆使して〇〇テーマの研究をしている」という情報を提供



新規研究者が指導を受ける。
共同研究も始まる可能性がある。

「〇〇先生はセルソーティング手技を駆使して〇〇テーマの研究をしている」という情報を提供



新規研究者が指導を受ける.
共同研究も始まる可能性がある.